

障害の有無超え 最良の就学先を

旭川市で、障害があるなどの理由で特別支援学級や通級指導教室（通常の学級に在籍しながら必要に応じて個別指導する教室）に通う児童・生徒の数は、2013年度までの5年間で約1・53倍に増えていることがわかった。本人や保護者の希望によって障害の有無にかかわらず地域の学校で他の子供たちと共に学ぶ「インクルーシブ（包容）教育」の推進を求める声が広がる中、関係機関は情報を共有して連携を深めようとしている。

（旭川報道部 田辺恵）

肢体不自由や知的障害などの理由で特別支援学級・通級指導教室に通う児童・生徒の数は、08年度に852人だった。

旭川市で、障害があるなどの理由で特別支援学級や通級指導教室（通常の学級に在籍しながら必要に応じて個別指導する教室）に通う児童・生徒の数は、2013年度までの5年間で約1・53倍に増えていることがわかった。本人や保護者の希望によって障害の有無にかかわらず地域の学校で他の子供たちと共に学ぶ「インクルーシブ（包容）教育」の推進を求める声が広がる中、関係機関は情報を共有して連携を深めようとしている。

見る 探る 教育

旭川市で、障害があるなどの理由で特別支援学級や通級指導教室（通常の学級に在籍しながら必要に応じて個別指導する教室）に通う児童・生徒の数は、2013年度までの5年間で約1・53倍に増えていることがわかった。本人や保護者の希望によって障害の有無にかかわらず地域の学校で他の子供たちと共に学ぶ「インクルーシブ（包容）教育」の推進を求める声が広がる中、関係機関は情報を共有して連携を深めようとしている。

「包容教育」推進へ

障害者権利条約批准に伴う一昨年8月の障害者基本法、昨年9月の学校教育法施行令の改正で、本人・保護者の意見を最大限尊重し、さまざまな条件を考えて、適切な就学先を総合的に判断することになった。

旭川市で、障害があるなどの理由で特別支援学級や通級指導教室（通常の学級に在籍しながら必要に応じて個別指導する教室）に通う児童・生徒の数は、2013年度までの5年間で約1・53倍に増えていることがわかった。本人や保護者の希望によって障害の有無にかかわらず地域の学校で他の子供たちと共に学ぶ「インクルーシブ（包容）教育」の推進を求める声が広がる中、関係機関は情報を共有して連携を深めようとしている。



旭川市内の児童デイサービスでゲームに参加する障害のある子供たち

旭川 関係者が連携、地域で支え

旭川市で、障害があるなどの理由で特別支援学級や通級指導教室（通常の学級に在籍しながら必要に応じて個別指導する教室）に通う児童・生徒の数は、2013年度までの5年間で約1・53倍に増えていることがわかった。本人や保護者の希望によって障害の有無にかかわらず地域の学校で他の子供たちと共に学ぶ「インクルーシブ（包容）教育」の推進を求める声が広がる中、関係機関は情報を共有して連携を深めようとしている。

旭川市で、障害があるなどの理由で特別支援学級や通級指導教室（通常の学級に在籍しながら必要に応じて個別指導する教室）に通う児童・生徒の数は、2013年度までの5年間で約1・53倍に増えていることがわかった。本人や保護者の希望によって障害の有無にかかわらず地域の学校で他の子供たちと共に学ぶ「インクルーシブ（包容）教育」の推進を求める声が広がる中、関係機関は情報を共有して連携を深めようとしている。

旭川市で、障害があるなどの理由で特別支援学級や通級指導教室（通常の学級に在籍しながら必要に応じて個別指導する教室）に通う児童・生徒の数は、2013年度までの5年間で約1・53倍に増えていることがわかった。本人や保護者の希望によって障害の有無にかかわらず地域の学校で他の子供たちと共に学ぶ「インクルーシブ（包容）教育」の推進を求める声が広がる中、関係機関は情報を共有して連携を深めようとしている。